

新春を迎えて



坂東市長 木村 敏文

市民の皆様には、希望に輝く
新年をお迎えのことと、心から
お慶び申し上げます。また、旧
年中は市政運営に対しまして、
深いご理解ならびに温かいご支
援とご協力を賜り、心より厚く
御礼申し上げます。

昨年は、4月の市長選におき
まして、市民の皆様をはじめ、
各方面からの力強いご支援を賜
り、市政の舵取り役を担わせて

いたしたことになりました。そ
の重責をかみしめながら、市民
の皆様にお約束した重点施策を
着実に実行してまいりたいと考
えております。

2月には、首都圏中央連絡自
動車道の開通に伴い、新たに坂
東ICが誕生しました。人や物の
流れが大きく変わろうとしてい
る中、坂東インター工業団地では、
交通利便の優位性を活かした積
極的な企業誘致に取り組み、す
でに12区画(11社)の分譲契約が
成立、残り5区画となりました。
今後も、さらなる企業誘致を目
指すとともに、工業団地周辺の
道路及び上下水道整備に努め、
坂東インター工業団地が新たな
産業拠点として発展できるよう
邁進してまいります。

また、学校教育環境の充実を
図るべく、9月から子育て世代
家庭の経済的負担を軽減する措
置として、段階的な給食費の無
料化に取り組んでまいりました。
学習環境の面では、校舎及び体
育館耐震化工事につきまして、
おおむね終了しておりますが、
今後は、子どもたちが夢の実現
に向けて成長する場である学校
をより良い環境にするため、全
小中学校のエアコン設置に努め

るとともに、トイレの洋式化を
進めることで、児童・生徒が安全
に学校生活を送るための施設整
備に着手してまいります。

さらには、教育現場で実際に
起っている様々な問題や課題
などに対して、先生方の生の声
をしつかりと聞くことを目的と
した教育懇談会を開催し、改善
策やより良い教育を見い出すた
めの積極的な意見交換を行つて
まいります。子どもたちは地域
の宝であり財産です。子どもた
ちの郷土、坂東への思いを育み、
誇りを持って成長していくよ
う、市の歴史・伝統文化や菅生
沼の自然などの魅力を最大限に
活かした学びの場の創出に努め、
豊かな心と健やかな体を育成し、
子どもたちの生きる力を育てる
教育のまちづくりに努めてまい
ります。

現在、わが国で急速に進展し
ている人口減少は、本市におい
ても深刻な問題となつております。
少子高齢化が急激に進行す
る中で、安心して子どもを産み
育てられる環境づくりが重要と
考えます。妊娠・出産・育児に
不安を抱えることがないよう、
切れ目のない支援とともに、地
域全体で子育てをサポートでき